

グリーンコープ

いきわらいちざ

生笑一座 公演

「生きてさえいれば
いつか笑える日がくる」



2017年

とき

12月6日(水)

10:30~12:30(開場10:00)

入場無料

ところ

たらみ図書館海のホール

諫早市多良見町木床2002 (駐車場有)

【お問い合わせ】 組員事務局 池田 電話0957-46-3881 申し込み締切り 11月25日(土)

オームレスという死の意識を乗り越えてきた人たちが、自分たちの経験を生かし何かできないかと考え、子ども達を死に渡さないために、共に生きるために一座をつくりました。

一座の目的はひとつです。子どもたちに次のことを伝えること。

「人生には思いもよらないことがある。家がなくなることもある。家族を失うことさえある。無視されることもある。孤独な日もある。いじめられ、襲撃されることもある。お腹が減ってどうしようもない日、寒くて眠れない夜。そんな日はある。もう死んでしまおうと思う日さえある。おじさんたちは、そんな日を過ごしてきました。でも、子どもたちよ、そんな時は『助けて』と言って良いんだよ。そうすれば新しい出会いがきっとあるよ。死んではいけない。生きてさえいればきっと笑える日が来る。そのことを伝えに来たんだ。だから、死なない。生きて笑おう。」

このことを、それぞれの当事者が自分の経験を踏まえた上で子どもたちに伝える。それが生笑一座の目的です。

「当事者」が語る言葉に力があると思います。子どもがある日突然、「助けて」も言わず死んでいくような社会がこれ以上続いていけません。子どもたちに「生きろ！」と腹の底から伝えることができるのは私ではなく、まさに死線を越えてきた先輩方だと思うのです。

授業内容は、ワークショップあり、お芝居あり、歌あり笑いあり、そして涙ありの大舞台にしたいと考えています。
(生笑一座公演の依頼文書より転載)

グリーンコープ生協の組合員以外の方も参加いただけます。ぜひ、公演にお越しください。